

共働き夫婦の「仕事と家事・育児の両立」に関する調査

家事・育児への意欲はあるものの、その実現に向けて壁がある夫 夫婦円満の秘訣は、家事・育児の実施割合でなく、相手への思いやり

株式会社リクルートホールディングスの中間持ち株会社である株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村吉弘、以下リクルート）が推進するプロジェクト「iction!」（イクション）は、子供がいる共働き夫婦1,039組を対象にアンケートを実施いたしました。その結果の一部をご報告いたします。

調査の背景・目的

国による女性活躍推進の後押しもあり、女性の就業率は年々上昇を続けています。一方、働く女性が増えたことにより、家庭内には変化が起きています。特に子育てに奮闘している共働き夫婦からは、「仕事と家事・育児の両立の難しさに加えて、働き方についても悩みを抱えている」という声を、女性だけでなく男性からも多く耳にするようになりました。そこで今回は、夫婦ともにフルタイム勤務、またはそれに近い働き方をしている家庭に着目し、仕事と家事・育児の両立状況、仕事やキャリアの関係について尋ねました。本調査による発信が、「仕事と家庭の両立」や「多様な働き方の実現」に向けたヒントとなることを目的としています。

調査トピックス

共働き夫婦における夫と妻の比較

- 仕事と家事・育児を両立したいと思っているが、できていないと感じている夫は5割を超える。
- 夫、妻ともに「子供に対しての時間が取れない」がトップ。約4割の夫が配偶者からの文句に困っている。
- 夫は妻と比べて、家事・育児について相談できる「ママ友・パパ友」が少ない。
- 職場における子育てへの理解や休みやすさには夫婦間でギャップがある。

「お互い不満がない夫婦」と「どちらかに不満がある夫婦」の比較

- “お互いに不満がない夫婦”と“どちらかに不満がある夫婦”で家事・育児の実施割合に差はない。
- 円満家庭の共通点は、相手を思う気持ちが強いこと。
- 円満夫婦の会話のポイントは「子供の教育方針」と「妻の仕事」に関する話題。
- 円満夫婦は、パートナーの仕事について理解度が高い。

iction!とは?

2015年に「子育てしながら働きやすい」社会の実現を目指す取り組みとしてスタートしました。2019年9月より、さまざまな働き方が共生する社会の実現に向けて、「十人十色の働き方を、みんなで作るプロジェクト」としてリニューアル。※本リリース掲載以外の情報は、下記サイトをご参照ください。


iction!
<https://www.recruit.co.jp/sustainability/data/iction/>

調査概要

<調査対象者>

- ・全国25～49歳の夫婦
- ・現在夫婦共働き（週5日以上勤務かつ1日平均6時間以上勤務）
- ・第1子の年齢が2～6歳（小学校に上がる前）
- ・現在配偶者、第1子と同居している（単身赴任など別居していない）

<調査スキームと手法>

- ・対象者に対して、自身が回答した後、配偶者にも同設問を回答いただき、同一夫婦の回答を聴取
- ・インターネット・リサーチ法

<回答者数>

- ・1,039組の夫婦（男性1,039人 / 女性1,039人）

<調査実施時期>

- ・2019年3月1日（金）～3月5日（火）

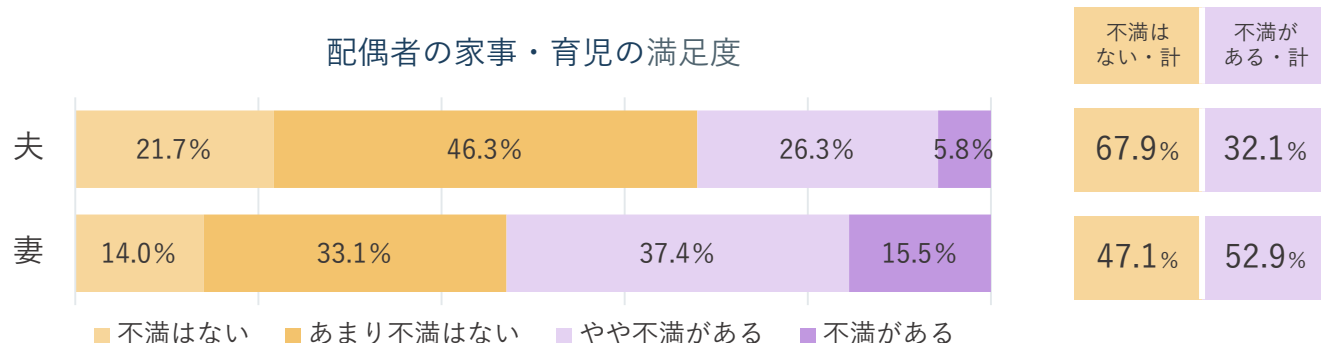
共働き夫婦における夫と妻の比較

家事・育児に関する自己評価

●夫の家事・育児に不満を抱える妻は5割を超える

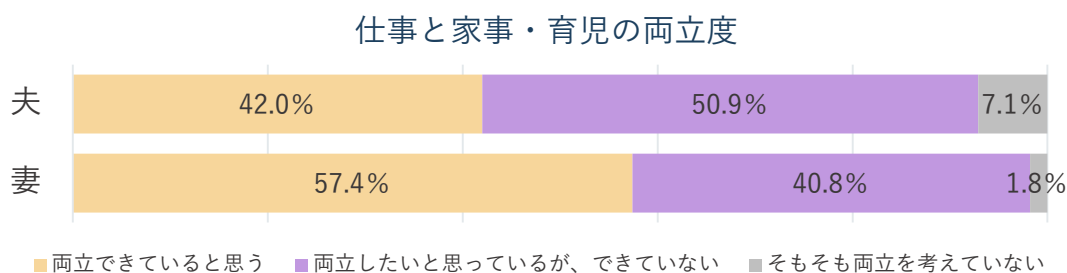
配偶者の家事・育児の満足度について尋ねたところ、5割以上の妻が「夫の家事・育児に不満がある」という結果となりました。一方、約7割の夫は「妻の家事・育児に不満がない」という結果となりました。

※ %の数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計値において0.1ポイントの誤差が生じています。



●仕事と家事・育児を両立したいと思っているが、できていないと感じている夫は5割を超える

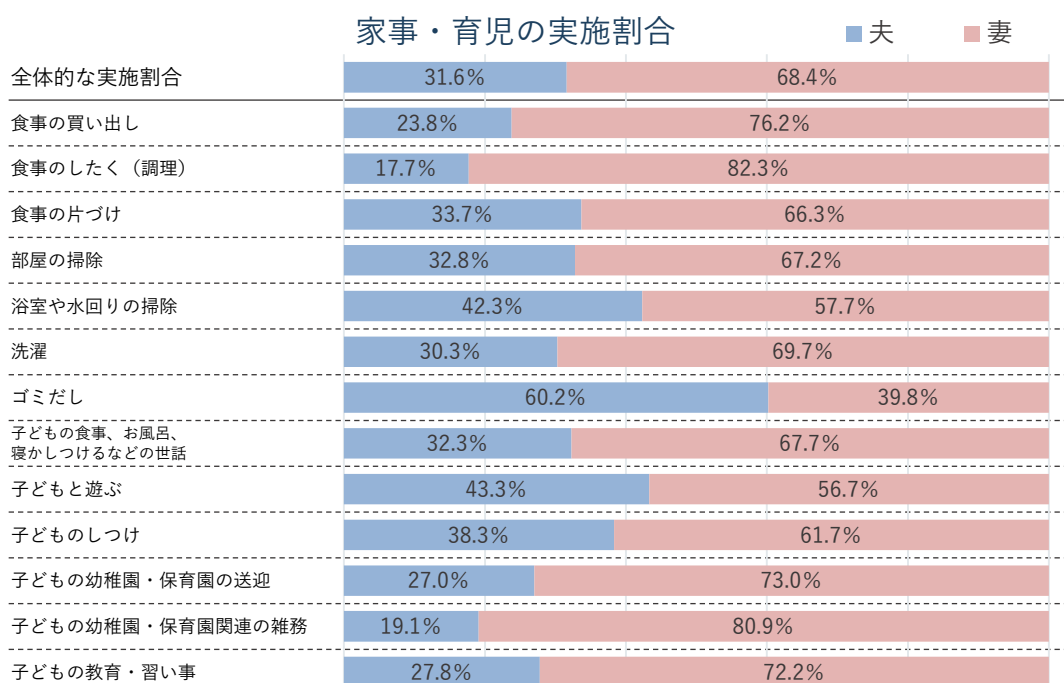
仕事と家事・育児の両立について尋ねたところ、5割以上の夫が「両立したいと思っているができていない」と回答。一方、妻の約6割が「両立できていると思う」と回答しました。また「そもそも両立を考えていない」と回答した夫は7.1%でした。



家事・育児の実施割合

●家事・育児の実施割合は妻の方が高い

家事・育児の実施割合について尋ねたところ、全体的な実施割合は妻が約7割、夫が約3割という結果となりました。妻の負担の大きさがうかがえます。



家事・育児について困っていること

●夫、妻ともに「子供に対しての時間が取れない」がトップ。約4割の夫が配偶者からの文句に困っている。

「家事・育児において困っていること」について尋ねたところ、「子供に対しての時間が取れない」が夫と妻ともに1位でした。また、夫は「家事・育児に協力しているつもりが、配偶者から文句を言われることが多い」が35.8%、一方で妻側は「配偶者が家事に協力的でない」が22.9%と、両社の間にずれがあるという結果でした。

家事・育児において困っていること (上位5項目)

夫

1位	子供に対しての時間が取れない	38.1%
2位	家事・育児に協力しているつもりが、配偶者から文句を言われることが多い	35.8%
3位	仕事が忙しくて、なかなか家事・育児が出来ない	31.0%
4位	子供が急に熱を出した時などに仕事を休みにくい	29.2%
5位	家事に対しての時間が取れない	25.7%

妻

1位	子供に対しての時間が取れない	45.3%
2位	家事に対しての時間が取れない	38.9%
3位	子供が急に熱を出した時などに仕事を休みにくい	23.2%
4位	配偶者が家事に協力的でない	22.9%
5位	仕事が忙しくて、なかなか家事・育児が出来ない	21.4%

妻への不満（フリーコメントを一部抜粋）

- 家事への不満をぶつけられ、あまり感謝されない。(32歳)
- 理想が高すぎてついていけない。(43歳)
- 時々八つ当たりみたいなことをする。(47歳)
- 自分の家事にダメ出しをされる。(32歳)
- 自分の思い通りにならないとイライラしている。(26歳)
- 完璧にやろうとするので常にピリピリしている。もう少し楽観的な思考も必要。(32歳)

夫への不満（フリーコメントを一部抜粋）

- 料理はしても、後片付けはしない。(30歳)
- 夫の気分で家事・育児をしたりしなかったりする。(42歳)
- 仕上がりが雑。(35歳)
- 家事・育児は母親がメインだと考えている。(38歳)
- 進んでやってはくれるが、出来栄が不十分であったり、自分の方針と合わないことがある。(39歳)
- 自分のことを自分で管理できない夫にイライラする。(25歳)

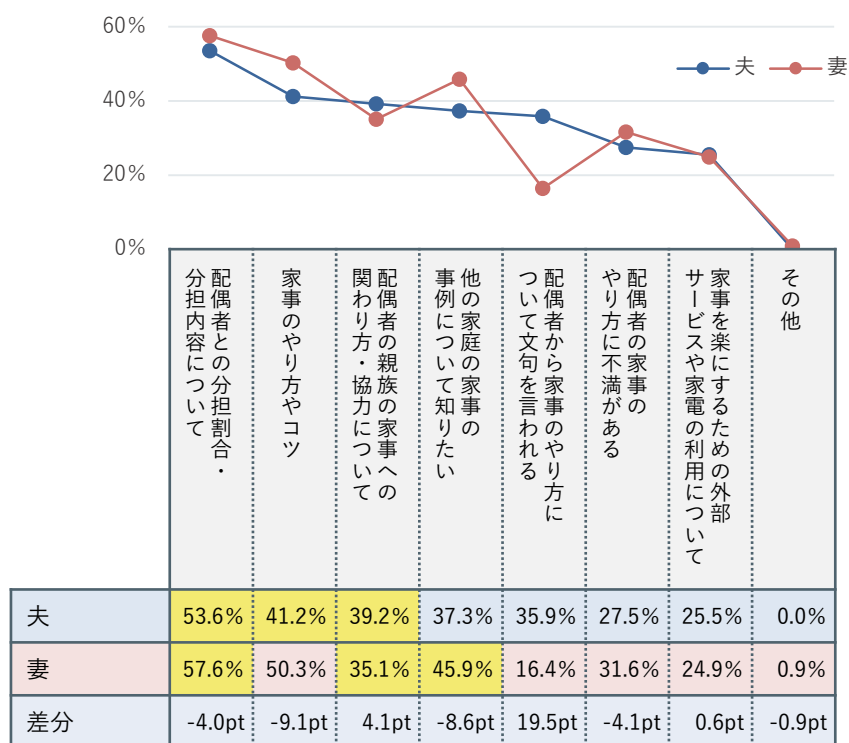
家事・育児の相談について

●夫も家事のやり方・コツについて相談したいと思っている

家事・育児について相談したい・話を聞いて欲しいことを尋ねたところ※、夫・妻ともに、「配偶者との分担割合・分担内容について」「家事のやり方やコツ」が高い結果となりました。

※ 本調査の追加調査として、本調査の回答者と同じの夫婦に回答を依頼し、得られた490組の回答をもとに分析。

家事について相談したい・話を聞いて欲しいこと

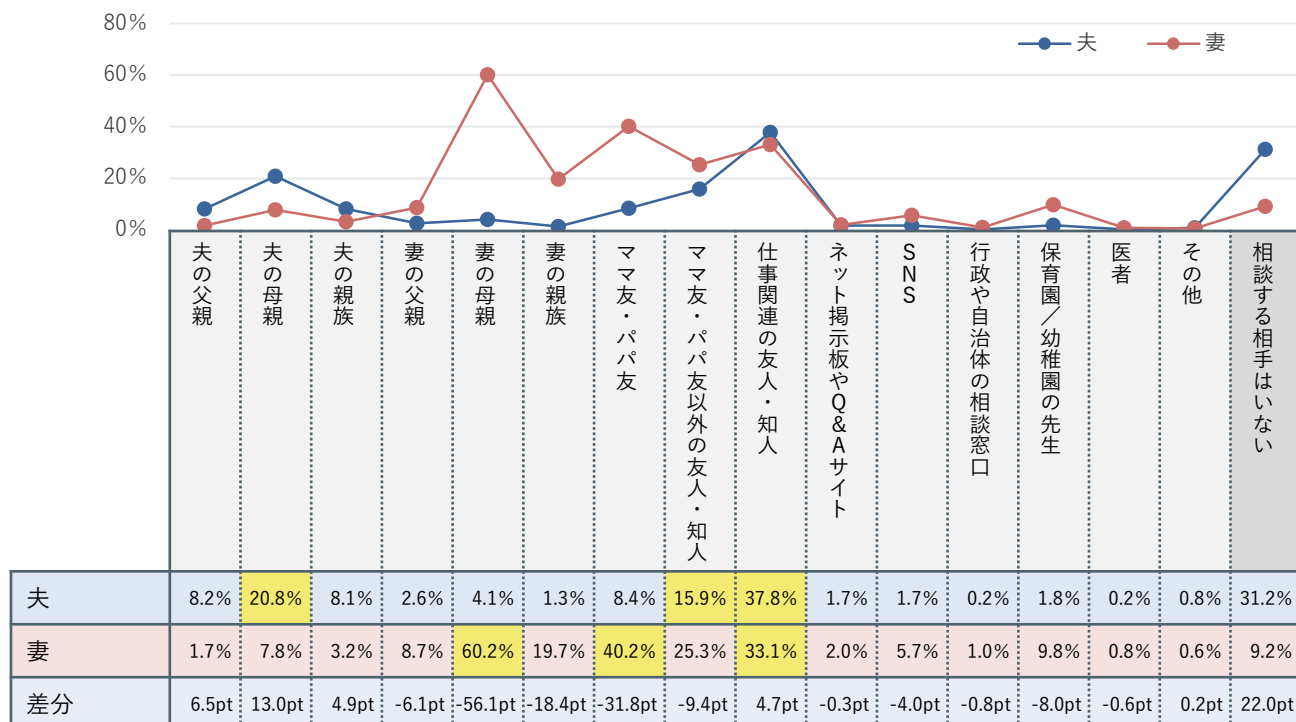


●夫は妻と比べて、家事・育児について相談できる「ママ友・パパ友」が少ない

家事・育児について相談相手を尋ねたところ、妻の場合は「自分の母親」が60.2%と最も高い結果となりました。

また、夫は約3割が「相談する相手はいない」と回答。また、妻と比較すると、全体的に相談相手が少ない傾向が見られ、「ママ友・パパ友」については、そのギャップが30ポイント以上となりました。

家事・育児についての相談相手



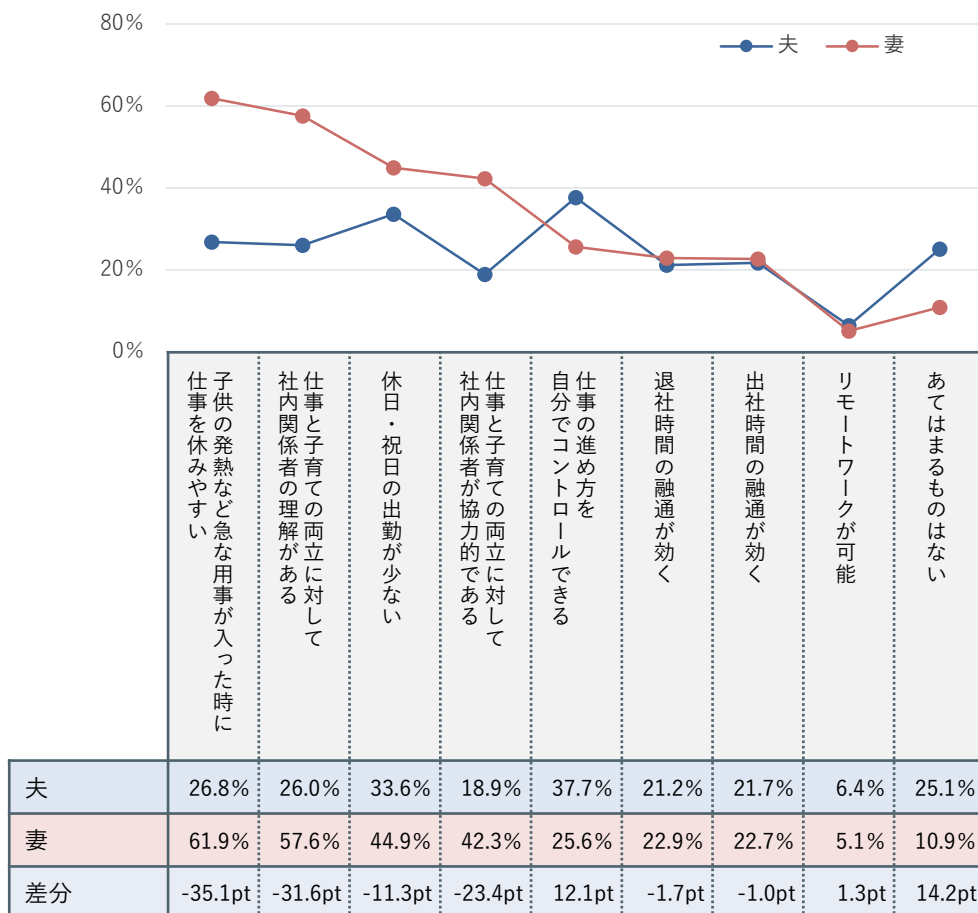
職場環境について

●職場における子育てへの理解や休みやすさには夫婦間でギャップがある

現在働いている職場環境についてどう感じているのかを尋ねたところ、妻は、「子どもの発熱など急な用事が入った時に仕事を休みやすい(61.9%)」「仕事と子育ての両立に対して社内関係者の理解がある(57.6%)」「仕事と子育ての両立に対して社内関係者が協力的である(42.3%)」と半数前後の割合で両立しやすい環境という結果となりました。

一方、夫は、「仕事の進め方を自分でコントロールできる(37.7%)」の選択肢は妻より高い数値を示しているものの、その他の選択肢については、多くが妻より低い回答となりました。

職場環境についてどう感じているか

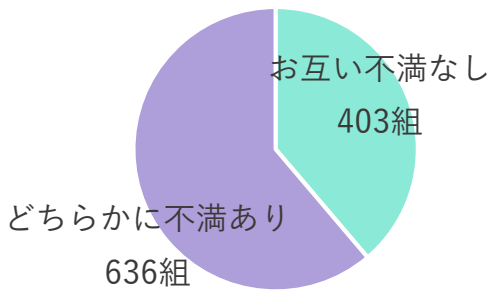


「お互い不満がない夫婦」と「どちらかに不満がある夫婦」の比較

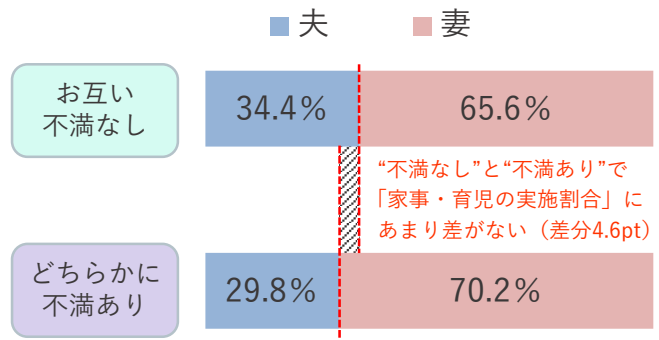
家事・育児の実施割合

●“お互い不満がない夫婦”と“どちらかに不満がある夫婦”で家事・育児の実施割合に差はない
 “お互い不満がない夫婦”と“どちらかに不満がある夫婦”の家事・育児の実施割合を比較したところ、大きな差は見られませんでした。

“お互い不満がない夫婦”と
 “どちらかに不満がある夫婦”の割合



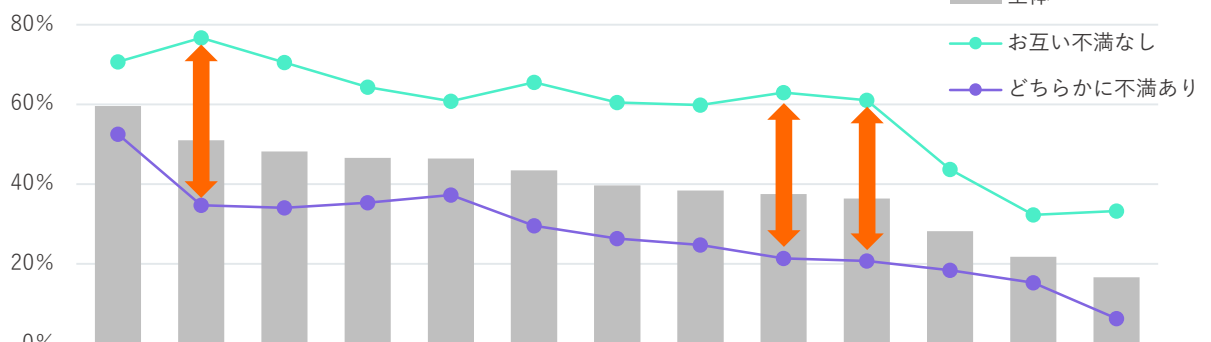
家事・育児の実施割合
 (家庭円満度別)



家事・育児の現状（自己評価）

●円満家庭の共通点は、相手を思う気持ちが強いこと
 家事・育児について「夫婦間でできていると思うこと」について尋ねたところ、全ての選択肢で“お互い不満がない夫婦”が高いという結果となりました。特に、“どちらかに不満がある夫婦”と比べてギャップが大きかった選択肢は「お互い思い合っている」「お互いに気配りができている」「お互い尊重し合っている」となり、差は40ポイント以上となりました。

夫婦間でできていると思うこと



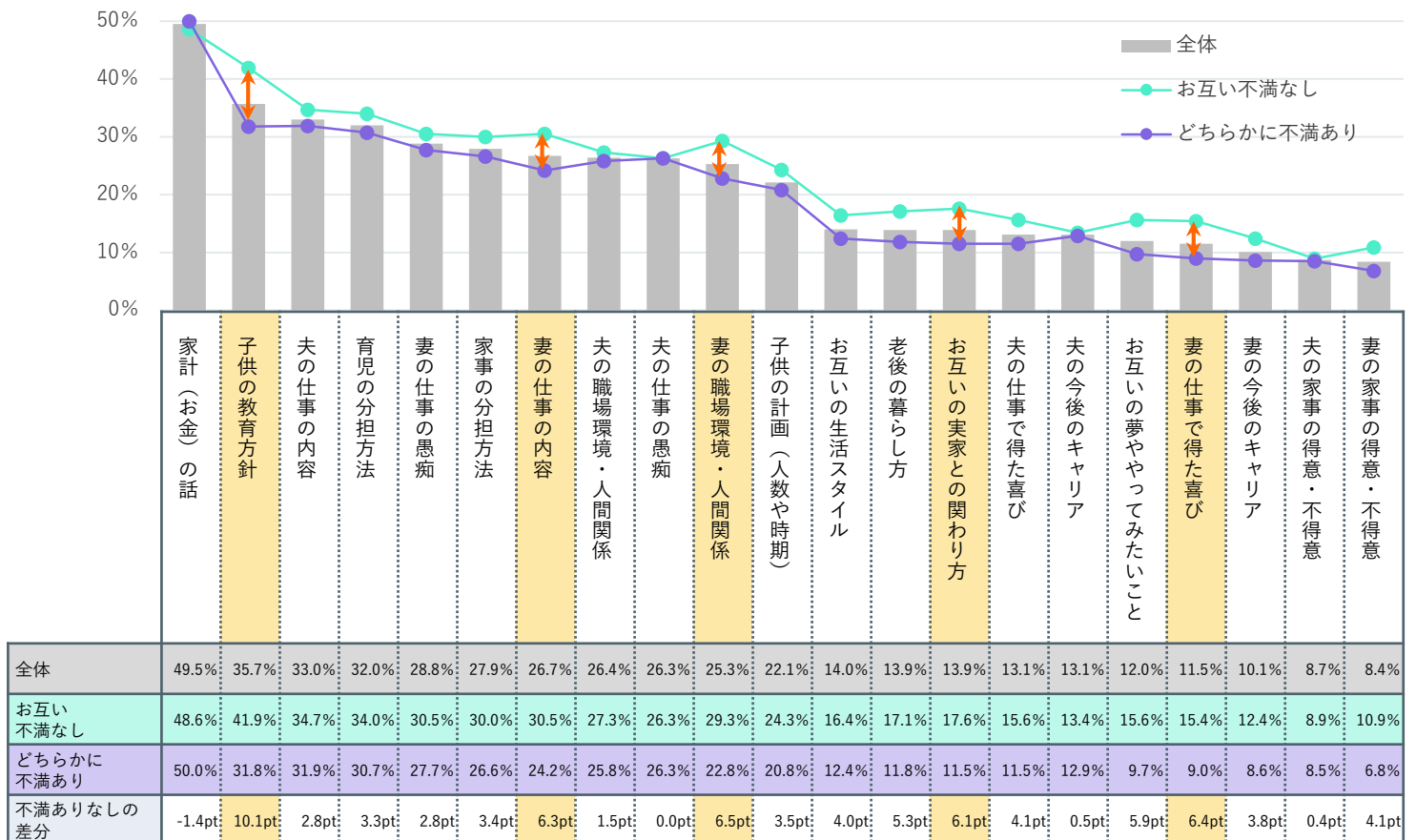
項目	全体 (%)	お互い不満なし (%)	どちらかに不満あり (%)	不満ありなしの差分
休日は子供と極力遊ぶようにしている	59.6%	70.7%	52.5%	18.2pt
お互い思い合っている	51.0%	76.7%	34.7%	42.0pt
家事・育児の不満があったら言い合っている	48.2%	70.5%	34.1%	36.4pt
普段からお互いの仕事の状況について話し合っている	46.6%	64.3%	35.4%	28.9pt
自分の身の回りのことはきちんとやる	46.4%	60.8%	37.3%	23.5pt
普段から家事・育児について話し合っている	43.5%	65.5%	29.6%	35.9pt
お互いの得意・不得意を話し合った上で、きちんと家事・育児の分担ができている	39.7%	60.5%	26.4%	34.1pt
お互い感謝の気持ちを伝える	38.4%	59.8%	24.8%	35.0pt
お互いに気配りができている	37.5%	63.0%	21.4%	41.6pt
お互い尊重し合っている	36.4%	61.0%	20.8%	40.2pt
喧嘩がない	28.2%	43.7%	18.4%	25.3pt
お互いの自由時間がある	21.8%	32.3%	15.3%	17.0pt
配偶者が自分の思っていたとおりに動く	16.7%	33.3%	6.3%	27.0pt

夫婦の定期的な会話

●円満夫婦の会話のポイントは「子供の教育方針」と「妻の仕事」に関する話題

「夫婦間で定期的に話していること」を尋ねたところ、“お互い不満がない夫婦”と“どちらかに不満がある夫婦”の傾向に差は見られませんでした。ギャップに着目すると、「子供の教育方針」は約10ポイント、「妻の仕事の内容」「妻の職場環境・人間関係」「妻の仕事で得た喜び」については、6ポイント以上、“お互い不満がない夫婦”が高いという結果となりました。夫だけでなく、お互いの仕事の状況を話し合っているかどうか、ポイントの一つと言えます。

夫婦間で定期的に話していること



「お互い不満のない夫婦」が定期的に会話している内容（フリーコメントを一部抜粋）

- 職場で面白かったことなどよく話します。お互いの仕事を尊敬しています。（30代／女性）
- 仕事の進め方で、周りが見れているか、第三者の視点から見てどうかなど、相談します。（30代／女性）
- 仕事の話もしますが、子供の成長について話をしている時間は幸せを感じる事が出来ています。（40代／男性）
- 今日は職場でこんなことがあった、こんなことを思ったなどよく話します。お互いに上と下に挟まれる立場なので、後輩への指導の仕方や、上司とのつきあい方など共感出来たりする部分が多いです。（20代／女性）
- ある程度はお互いの仕事の忙しい具合を把握している。忙しいときはフォローする。（40代／女性）
- 今後自分がどんな風に働いていきたいかという話をお互いよくする。夫はどんどん働いて収入アップを目指しているが、こどもとの時間は大切にしたい。私は家庭を一番に考えつつも自己研鑽したい。理想論でも話す。（30代／女性）
- 職場の人間関係や労働環境について話をする。残業や後輩の育成について悩んでいることなどです。（30代／男性）

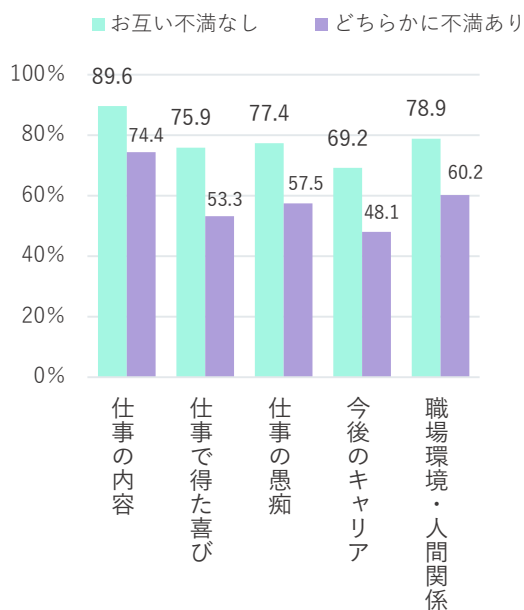
お互いの仕事に関する理解度

●円満夫婦は、パートナーの仕事について理解度が高い

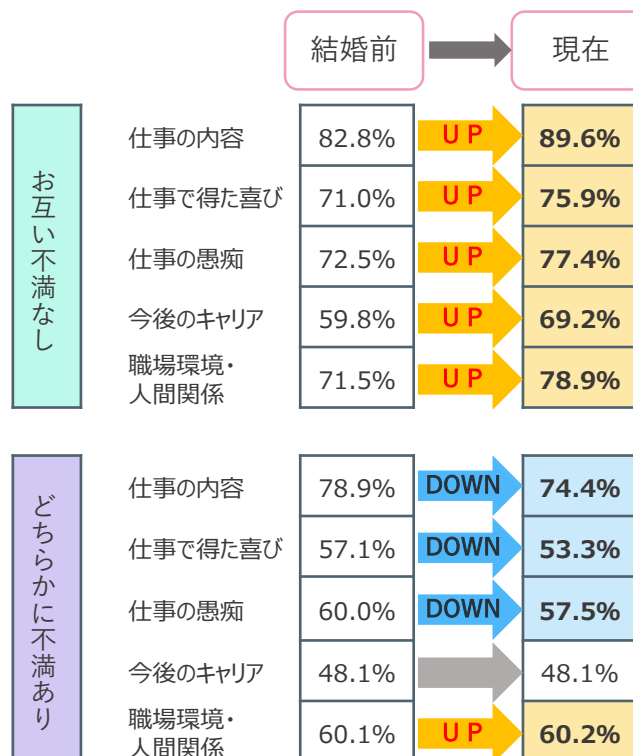
お互いの仕事の理解度について尋ねたところ、“お互い不満がない夫婦”は“どちらかに不満がある夫婦”と比べてすべての項目で高いという結果となりました。

また、結婚前と現在についてのお互いの仕事の理解度を比較したところ、“お互い不満がない夫婦”は現在のほうが理解度が高かったのに対して、“どちらかに不満がある夫婦”は、複数の項目で現在のほうが低いという結果となりました。

お互いの仕事に関する理解度(現在)



お互いの仕事に関する理解度(結婚前および現在)



About Recruit Group

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、約45,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2018年度の売上収益は23,107億円、海外売上比率は46%を超えています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。詳しくは <https://recruit-holdings.co.jp/> をご覧ください。